

# 令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

一般財団法人 東洋医学研究所

令和4年度については、当財団の事業目的ならびに当初の事業計画に基づき、下記のとおり、会議及び各事業を実施した。

記

## I 公益目的支出計画

### 1. 公益目的支出計画実施状況

① 期首公益目的財産残額	67,717,534 円
② 公益目的収支差額	2,115,478 円
公益目的支出額	2,775,478 円
実施事業収入額	660,000 円
③ 期末公益目的財産残額	65,602,056 円
(当初計画との差異)	▲774,579 円)
④ 公益目的支出計画の完了予定期末日	令和45年3月31日

### ※ 公益目的支出計画 (参考)

公益目的財産額 (当初)	81,586,635 円
公益目的収支差額見込額 (期間中平均)	1,690,000 円
公益目的支出計画の完了予定期末日	令和45年3月31日
公益目的支出計画実施期間	49年間

### 2. 公益目的財産額・純資産額推移

(単位：円)

	公益目的支出計画	① 公益目的財産残額	② 純資産額	②-①	(医療+法人損益)
H26/3 末	81,586,635	81,586,635	81,586,635		
H27/3 末	79,896,635	79,977,621	86,857,118	6,879,497	6,879,497
H28/3 末	78,206,635	78,262,165	86,331,219	8,069,054	1,189,557
H29/3 末	76,516,635	76,823,371	86,847,337	10,023,966	1,954,912
H30/3 末	74,826,635	74,776,055	86,142,392	11,366,337	1,342,371
H31/3 末	73,136,635	72,954,915	81,569,612	8,614,697	▲2,751,640
R 2/3 末	71,446,635	70,845,002	76,138,989	5,293,987	▲3,320,710
R 3/3 末	69,756,635	69,340,718	74,411,631	5,070,913	▲223,074
R 4/3 末	68,066,635	67,717,534	74,428,597	6,711,063	1,640,150
R 5/3 末	66,376,635	65,602,056	67,232,714	1,630,658	▲5,080,405

※ 公益目的財産額を純資産額が下回らないことが必要

## II 会議

### 1. 理事会

- (1) 第1回 令和4年6月9日(木)
- |      |       |                         |
|------|-------|-------------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和3年度事業報告書(案)の承認について    |
|      | 第2号議案 | 令和3年度決算報告書(案)の承認について    |
|      | 第3号議案 | 公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について |
|      | 第4号議案 | 令和4年度定時評議員会開催について       |
- (2) 第2回 令和5年3月9日(木)
- |      |       |                  |
|------|-------|------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和5年度事業計画(案)について |
|      | 第2号議案 | 令和5年度予算(案)について   |
|      | 報告事項  | 令和4年度業績見通しについて   |

### 2. 評議員会

- (1) 定時(第1回) 令和4年6月24日(金)
- |      |       |                      |
|------|-------|----------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和3年度事業報告書について       |
|      | 第2号議案 | 令和3年度決算報告書(案)の承認について |
|      | 第3号議案 | 公益目的支出計画実施報告書について    |
|      | 第4号議案 | 任期満了に伴う評議員の選任について    |
|      | 第5号議案 | 評議員会会長の選定について        |
|      | 第6号議案 | 監事の選任(補欠)について        |
- (2) 第2回 令和5年3月9日(木)
- |      |       |                  |
|------|-------|------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和5年度事業計画(案)について |
|      | 第2号議案 | 令和5年度予算(案)について   |
|      | 報告事項  | 令和4年度業績見通しについて   |

## III 役員等の就任・退任

### (1) 評議員

令和4年6月24日任期満了に伴い、以下のとおり選任を行った。

- |      |         |           |
|------|---------|-----------|
| (就任) | 評議員(会長) | 溝口 秀雪(再任) |
|      | 評議員     | 成瀬 秀夫(再任) |
|      | 評議員     | 木戸 正雄(新任) |

任期：令和8年6月開催の定時評議員会の終結の時まで

### (2) 監事

前久保監事のご逝去に伴い1名体制となっていたが、令和4年6月24日に以下のとおり選任を行い、2名体制とした。

- |      |    |           |
|------|----|-----------|
| (就任) | 監事 | 太田 健三(新任) |
|------|----|-----------|

任期：令和6年6月開催の定時評議員会の終結の時まで(前任者の任期満了時まで)

### (3) 理事

令和4年7月15日、田渕 健一 理事ご逝去に伴い、理事1名減(理事3名)となった。

## IV 公益事業（研究・啓発部門）

### 1. 研究部門

当研究所の目的である東洋医術の医学的研究活動を、基礎及び臨床におけるテーマに基づき、鍼灸並びに柔道整復分野の所内研究グループにて実施し、その成果について学会発表・学会誌投稿等を行った（計 31 題）。各グループの研究内容は以下の通り。

#### [鍼灸分野]

##### (1) 鍼灸臨床研究班

（研究員：筒井宏史研究員、丸山広美研究員、中野陽子研究員、鈴木格研究員、伊丹章人研究員、橋本隆研究員）

研究テーマは以下のとおり

- ・「身体局所における皮膚応答性（閾値）の比較」—生体の刺激に対する応答性とその特性について—
- ・「耳介鍼刺激（皮内鍼）による高度肥満者に対する体重減少効果」
- ・「運動が筋緊張に及ぼす影響について」（筋緊張を筋硬度計によって定量化して評価）

##### (2) 東洋医学研究班

（研究員：木戸正雄主任研究員、光澤弘主任研究員、水上祥典研究員、東垣貴宏研究員、武藤厚子研究員）

※ 「脈診の研究」及び「経絡系統治療システム」を継続して研究。

研究業績は論文発表、依頼講演を含め 5 題。

- ① 第 71 回全日本鍼灸学会学術大会（東京大会）【令和 4 年 6 月 3 日～5 日】  
「脈診訓練法の開発（第 23 報）—脈診における濡・軟脈の古典文献からの検証—」  
（一般演題発表：水上祥典研究員）
- ② 第 50 回日本伝統鍼灸学会学術大会（東京大会）【令和 4 年 10 月 29、30 日】  
「伝統鍼灸の確立に向けて—伝統鍼灸の過去・現在・未来—」  
（学術部セミナー講師：光澤弘主任研究員）
- ③ 第 50 回日本伝統鍼灸学会学術大会（東京大会）【令和 4 年 10 月 29、30 日】  
「天・地・人治療」（第 12 報）—坐骨神経痛に対する「肉里脈」治療—  
（一般口演発表：水上祥典研究員）※「発表奨励賞受賞」
- ④ 「東洋鍼灸医学 経絡治療」第 232 号 15～29 頁【令和 5 年 2 月 15 日】  
「脈診を初めてはじめる人のために（第 24 報）—脈状の検証③「濡脈」と「軟脈」—」  
（論文発表：水上祥典研究員、木戸正雄主任研究員、光澤弘主任研究員、武藤厚子研究員、東垣貴宏研究員他）
- ⑤ 第 7 回日本伝統鍼灸臨床セミナー【令和 5 年 3 月 5 日】  
「東洋医学の脈診と治療」（臨床セミナー講師：木戸正雄主任研究員）

##### (3) 基礎研究班

（研究員：川瀬明子主任研究員 共同研究者（東京有明医療大学）：高倉伸有教授、矢野裕義准教授、高山美歩講師）

※ 「鍼灸および経皮通電刺激が体性運動神経（VFR）に及ぼす影響」、「Double-blind 鍼のマスキング効果」、「鍼の臨床研究」を継続して研究。

##### (4) 経穴認知班

（研究員：小川一主任研究員、橘綾子研究員、吉田麻衣子研究員）

※ エコー装置による経脈の位置における動脈の検討、フォースフィードバック装置（触覚

デバイス)による刺鍼トレーニングに向けたシステムの発展、経穴認知に向けた身体操作の検討、警部の椎骨動脈と経穴からの深さとその周辺の構造の3D画像化  
研究結果発表は以下の1題。

① 第71回全日本鍼灸学会学術大会(東京大会)【令和4年6月3日～5日】

「経絡内部のエコー装置による血管の可視化 前腕肺経上からのドップラ画像

(一般演題発表:小川一主任研究員、共同研究者(岩手県立大学)土井章男教授)

(5) 臨床治療班(附属鍼灸院研究グループ)

(研究員:吉川信主任研究員、寺師健研究員)

発表や投稿等は以下の15題。

- ① 承霊への施灸により直後効果を認めた2症例(口演). 第72回日本東洋医学会学術総会, 日本東洋医学雑誌 **Kampo Medicine**)73号:132. 2022年05月(学会報告:吉川信主任研究員)
- ② 東京女子医科大学先端生命医科学研究所・第53期バイオメディカル・カリキュラム  
【令和4年4月9日】 東洋医学—鍼灸治療—(講演:吉川信主任研究員)

以下③～⑮すべて吉川信主任研究員

- ③ 睡眠の質を上げるツボ. 素敵なあしたへ4月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ④ 胃の痛みを和らげるツボ. 素敵なあしたへ5月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑤ 食中毒を少しでも早く改善するツボ. 素敵なあしたへ6月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑥ 肌トラブルを緩和するツボ. 素敵なあしたへ7月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑦ 特別企画・知っておきたいツボ押しの基礎. 素敵なあしたへ8月号;16-17. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑧ 熱中症対策におすすめのツボ. 素敵なあしたへ8月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑨ 筋肉痛を緩和するツボ. 素敵なあしたへ9月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑩ 憂鬱な気分を吹き飛ばすツボ. 素敵なあしたへ10月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑪ 代謝を促し、ダイエットに効くツボ. 素敵なあしたへ11月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑫ かぜの引きはじめに役立つツボ. 素敵なあしたへ12月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑬ 背中張り、凝りを和らげるツボ. 素敵なあしたへ1月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑭ 痰を出すツボ. 素敵なあしたへ2月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022
- ⑮ 目の不調を感じたときのツボ. 素敵なあしたへ3月号;18-19. 協和発酵バイオ. 2022

(6) 自律神経研究班(研究員:菊池友和主任研究員)

研究テーマは以下のとおり。発表や投稿等は以下の9題。

- ・頭頸部刺鍼の安全性の研究—深さによる研究—
  - ・アップルウォッチを使用した鍼灸治療の非特異的効果と特異的効果の検討 心拍変動スペクトル解析を指標に
- ① 【困ったときの2の手,3の手 今こそ知りたい漢方・鍼灸】使える!漢方・鍼灸 頭痛編 頭痛に使える鍼灸 薬物を用いづらいつきの次の一手. 治療 105(1)56-59.2023.
  - ② 頭痛への東洋医学的アプローチ. 脳神経内科 98(3)349-353.2023(菊池友和、山口智)
  - ③ 東洋医学と自律神経1-脳循環- 慢性疼痛患者に対する鍼刺激が脳循環に及ぼす影響(菊池友和、山口智、荒木信夫) 自律神経 59(1)88-91.2022.

- ④ 腰痛に対する鍼灸治療の展望 腰痛の動作再現性からみた鍼治療効果全日本鍼灸学会学術大会抄録集 71 回 シンポジウム p109. 2022.
- ⑤ 鍼治療は高位中枢を介し症状の改善に寄与する 四肢末梢への鍼刺激による脳血流の変化うつ病を対象として日本自律神経学会総会プログラム・抄録集 75 回 130.2022. (松浦 悠人, 菊池 友和, 山口 智, 安野 富美子, 坂井 友実)
- ⑥ 佳椎骨動脈までの刺鍼の深さについての解剖学的検討. 日本頭痛学会誌. 49(2)474.2022. (菊池 友和, 小川 一, 山口 智, 五十嵐 久)
- ⑦ 月経前症候群に対する鍼治療効果 スマートウォッチの HRV による評価の検討. 日本自律神経学会総会プログラム・抄録集 75 回 p152 2022. (菊池 友和, 谷口 博志, 谷口 授, 山口 智)
- ⑧ 入院病棟におけるアルツハイマー型認知症に対する鍼治療の効果 行動心理症状に着目して. 全日本鍼灸学会学術大会抄録集 71 P182.2022. (中村 真通, 菊池 友和, 山口 智, 丸木 雄一, 坂本 歩, 福田 文彦)
- ⑨ 鍼灸師が好むオンラインコンテンツとは全日本鍼灸学会学術大会抄録集 71 回 P 173 2022. (岡野 浩人, 横山 奨, 建部 陽嗣, 菊池 友和)

#### [柔道整復分野]

##### (7) スポーツ・柔整研究グループ (スポーツ外傷研究班)

(研究員: 山口竜彦主任研究員、田中康文研究員、赤羽泰彦研究員、勝村洋介研究員、飯野元研究員、手島遼太研究員)

※ 「高校生スポーツ選手の身体特性と外傷との関連性の調査・研究」を継続して研究。

##### ① 第 31 回日本柔道整復接骨医学会学術大会【令和 4 年 12 月 3 日】

「超音波画像装置とシーネを用いた前距腓靭帯の評価」(山口竜彦主任研究員他)

## 2. 啓発部門

はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧の各資格保有者を対象に、技術の向上と研究者の育成を目的として、以下のとおり、臨床技術研修講座を開講した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和 2 年度、令和 3 年度は開催を見送っていたため、3 年ぶりの開催となった。

< 第 44 回臨床技術研修講座 (計 10 回) >

※参加者総数：33 名 計 10 回の延べ参加人数 261 名

第 1 回 (令和 4 年 5 月 14 日) 「M-テストによる治療法」

向野 義人 先生 (元福岡大学スポーツ科学部教授)

第 2 回 (令和 4 年 5 月 21 日) 「間欠性跛行のパルス治療」

坂井 友実 先生 (東京有明医療大学大学院保健医療学研究科研究科長、教授、同大学附属鍼灸センター長)

第 3 回 (令和 4 年 5 月 28 日) 「びわの葉灸による治療の実際」

深見 哲也 先生 (深見灸院院長)

第 4 回 (令和 4 年 6 月 11 日) 「天地人治療に関する実際」

木戸 正雄 先生 (日本鍼灸理療専門学校元 教務部長)

第 5 回 (令和 4 年 6 月 18 日) 「九鍼による治療の実際」

石原 克己 先生 (東京九鍼研究会代表 日本伝統鍼灸学会会長 東明堂石原鍼灸院・)

漢方薬局代表)

第6回(令和4年6月25日) 「スポーツと鍼灸」

宮本 俊和 先生(元筑波大学大学院 人間総合科学研究科教授)

第7回(令和4年7月2日) 「関節リウマチに対する鍼灸治療」

粕谷 大智 先生(新潟医療福祉大学教授)

第8回(令和4年7月9日) 「私の考える伝統医学的診察・治療の概要と実際」

戸ヶ崎 正男 先生(日本伝統鍼灸学会副会長、和ら会代表、蓬治療所所長)

第9回(令和4年7月16日) 「経絡治療の概要と治療の実際」

岡田 明三 先生(経絡治療学会会長、神宮前鍼療所院長)

第10回(令和4年7月23日) 「深谷灸の実践と婦人科疾患」

福島 哲也 先生(灸法臨床研究会)

## V 収益事業(臨床部門)

附属クリニックは、地域住民への医療サービス提供のため、昭和50年1月に開設し、その名のとおり、西洋医学と東洋医学の融合を図り、内科においては病気・疾患の治療はもちろんのこと、漢方薬を通じた病気の予防、病後の健康回復、慢性疾患の改善等の治療を行っている。また、整形外科では腰痛やひざ・足の痛み、捻挫・骨折といった外傷以外に、スポーツ整形にも力を入れている。更に平成26年4月からは自由診療の自然医療部門が加わり、様々な症状の患者様に対応してきたが、令和3年3月31日をもって、同部門の診療は終了した。(※ 診療体制は「1. 診療体制」参照)

令和4年度のクリニックの運営状況は以下のとおり。

(※「2. 取扱患者数推移」「3. 医療事業収支」「4. 医療会計 部門別損益推移」参照)

### ◆ 患者数

内科(漢方内科含む)、整形外科とリハビリ等の合計患者数は令和3年度とほぼ同数となった。内訳は内科が前年度比8.9%減少、リハビリが23.4%減少となっている一方、整形外科は前年度比43.4%増加となっている。

### ◆ 収 支

収入は保険診療部門で前年度比49万円(5.5%)の増加となったが、自然医療部門閉鎖の影響を受け、医療事業収入は前年度比952万円(50.2%)の減となった。一方、医療事業支出は前年度比273万円(12.8%)の減少となり、医療部門全体の収支額は908万円の赤字、前年度比で679万円の赤字拡大となった。収入が半減しているにも関わらず、費用は約13%の減少にとどまるのは、収入に関係なく、一定額がかかる固定費、人件費等の影響と考えられる。

以上